第6章 環境づくりの取り組み

I 人間 (心) のエコロジー (環境教育・学習及び環境保全活動)

1 環境教育・学習の推進

本市を囲む山々、田園、川や泉などの自然環境、それらが織りなす美しい景観を引き継いでいくためには、市民一人ひとりが環境について学び、理解を深めるとともに、将来、美しい環境を守り、より良い環境づくりを担う人材を育成していくことがますます重要となっています。

幼少期からの一貫した環境教育・学習の推進とともに、身近な山や川、泉、公園などのさまざまな場において、地域と連携した環境教育・学習の機会を充実し、市民一人ひとりの自主的な環境行動の実践につなげていくことが求められます。

環境に関心を持ち、本市の環境や広く地球環境まで含めた現状を理解し、みんなで知恵を出しあいながら環境づくりを推進するため、その基礎となる環境教育や学習を効果的に 進めていきます。

(1) 一貫した環境教育・学習の推進

環境教育・学習を効果的に推進していくには、現地で「実際に見て、触れて、体験を通して、興味を持つ」ことが大切です。自分たちで考え、実際に行動していくといった「体験」や「学び」の過程が重要です。環境の視点を取り入れた総合的な学習の時間や体験学習などを通して、環境に対する感性を育て、環境の課題に対し的確に判断し意思決定ができる子どもを育てていく環境教育・学習の推進を図ります。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 身近な山、川、泉などでの環境教育・学習に参加します。
- さまざまな生態系や施設などを積極的に環境学習活動の教材と して活用します。
- 親子で参加できる「とことこクラブ」などの身近な地域の体験 会や学習の機会に積極的に参加します。
- 家族と一緒に地産地消、食育についての理解を深めます。



事業者の取り組み

- 施設見学への対応、出前教室の講師など地域の環境教育・学習の推進に協力します。
- 「とうおん子ども科学&環境会議」をはじめ、出前教室などに協力します。

市の取り組み

- 幼児期からの環境教育や体験学習の機会を充実させます。
- 学校での一貫した環境教育を推進します。
- 農林業者などとの連携による農林業体験、地産地消や食育の取り組みを推進します。
- 環境学習の場の拠点施設の整備と既存施設などの活用促進に努めます。
- 環境保全活動団体と連携し、体験学習の機会や場の充実を図ります。
- 自然とふれあう場の有効活用や整備を推進します。
- エコ・キッズ支援事業の拡充を図ります。
- 子どもたちへの環境教育・学習を充実させるため、大学、企業、NPOなどと連携 し、指導者やリーダーの発掘と育成に努めます。

(2) 地域における環境教育・学習の推進

子どもから大人まで世代を超えて、地域の人たちによる生涯学習活動や地域活動などを 通して、みんなで生きるための環境教育・学習の推進を図ります。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 身近な環境について関心を高め、理解を深めます。
- 身近な地域での環境学習や環境保全活動に参加します。

事業者の取り組み

- 地域の環境教育・学習の活動に参加します。
- 地域の環境教育や体験学習の講師やリーダーとして協力します。
- 地域の環境に関心を持ち、的確な情報を収集し、環境に配慮した事業活動の展開に 活かします。
- 従業員への環境教育を充実するなど、環境に対する意識の高揚を図ります。

市の取り組み

- それぞれの年齢階層に応じた多様な環境教育プログラムを充実・発展させます。
- 地域の環境教育・学習を充実するため、指導者やリーダーの発掘と育成に努めます。
- 「広報とうおん」や市のホームページなどを通して、地域の環境に関する情報を発信します。
- 地元企業への環境活動に関する情報提供を充実させます。
- 地域の環境学習の充実に向け、地元企業との連携を強化します。

東温市ミティゲーションシステム(持続可能な環境教育の推進のための仕組み)

本市では、「東温市ミティゲーション*システム(地球環境負荷の緩和措置)」と「創 エネシステム」を構築しています。

エコ・キッズの活躍が地域や行政を動かす原動力につながるとの期待から、"エコ・キッズ・エネルギーこそが、地球環境を救うための最強のカード!"を理念として掲げ、地球温暖化対策に環境教育を核となる施策として位置づけています。そのために、「東温市ミティゲーションシステム」では、市の行政活動で排出する温室効果ガスの環境負荷分を、長期的視点からエコ・キッズに投資し、地球温暖化などの環境負荷を緩和していく考え方で、持続可能なまちづくりのため、投資目標*に基づき予算化し環境教育に継続的に取り組んでいます。

なお、「創エネシステム」は、市有施設の光熱水費節減相当分を投資目標として、市 民に還元する仕組みです。

※ミティゲーション: mitigate(緩和する)、環境に対する影響を軽減するためのすべての保全行為を表す概念。 環境への影響を回避、最小化、矯正、軽減、代償に区分される。

※投資目標: 市行政活動による基準年の CO₂ 排出量 10,788t × 200 円 約 2,000 千円



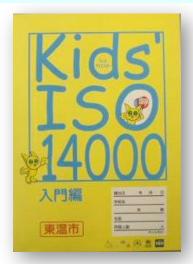
エコ・キッズ支援事業「地域づくり総務大臣賞」受賞

市の体系的な環境施策やエコ・キッズ支援の取り組みが評価され、平成 21 (2009) 年度「地域づくり地方自治体表彰(頑張る地方応援)総務大臣表彰」を受賞しました。これを受け、脚地域活性化センター助成事業で「育てよう!未来を担うエコ・キッズ」の記録 DVD を制作しました。

この受賞にかかる取り組みの一例として、「NGO 国際芸術技術協力機構」が主催する「Kids'ISO 14000 プログラム (入門編)」では、延べ742 人が参加し、実施期間中のCO2 排出量を平均 13%削減する実績をあげました。



「上林ヒマワリプロジェクト」 バイオディーゼル燃料(BDF)による循環学習



Kids'ISO 14000 プログラム

「エネルギー教育賞特別奨励賞」受賞

電気新聞主催の第3回「エネルギー教育賞」において、東温市が「エネルギー教育賞特別奨励賞」を受賞しました。

これは、環のまちづくりプロジェクトや総合的な 学習の時間などで実施している各小中学校、市民グ ループや企業等の取り組みが総合的に評価されたも ので、"エネルギー教育のすそ野を広げるには自治体 などの活動が重要"との選考委員会のコメントをい ただいています。



間伐材のペレット燃料製造実験 バイオマスエネルギー体験 川内中学校

乳幼児から始める環境教育「とことこクラブ」

子育て支援プログラムの一環として、就園前のお子さんとその保護者を対象に、小さな子どものためのおさんぽ会「とことこクラブ」を開催しています。市民が地域の自然環境への愛着を深め、自然環境保全への意識を高めることを目的としており、運営は「NPO法人自然環境教育えことのは」が行っています。







パンフレット制作:NPO法人自然環境教育えことのは

ESDモデル授業「森のようちえん」

ESDとは、Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

世界の環境、貧困、人権などさまざまな現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むこと(think globally, act locally)により、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、また、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。







ミニ昆虫講座

ネイチャーゲーム

ローブ遊び・木登り

北吉井幼稚園「森のようちえん父親遠足」

ネイチャーゲーム

豊かな自然環境は人々の感性に大いに影響を与えます。特に子ども時代に環境から受ける影響は大きいため、身近な場所に豊かな自然環境が存在し、そこで遊びながら育つことは、とても大切なことです。

ネイチャーゲームは、自然の中で参加者一人ひとりが主体となって遊びながら、センス・オブ・ワンダー(神秘さや不思議さに目を見はる感性)を身につけ、自然生態系に興味を持ち、人と自然とが調和した社会をつくる「人」を育むためのゲームです。





企画・制作:NPO法人自然環境教育えことのは

「とうおん子ども科学&環境会議」

エコキッズたちの科学の芽を育み、環境のことを考え行動していく力を身につけてもらうことを目的に、毎年小学5年生(約300名)を対象に開催しています。各分科会(科学実験、エネルギー、食育、生物多様性、交通、気象など)のテーマに沿った学習を行います。



愛媛大学等との連携による環境 ESD事業

愛媛大学では、環境教育指導者養成カリキュラムの展開を通して、学生が主体的に関わる学習機会を提供することで自ら考え行動する学生の育成を目指しています。ESDに関わる人材の育成及び地域の人的ネットワークを構築し、持続可能な社会づくりを推進していくことを目標とし、ESD指導者育成や国際交流事業などに取り組んでいます。

モザンビーク国際交流事業







日本とアフリカのモザンビークで取り組んでいる環境や経済、医療分野などの教育について、報告・意見交換する国際シンポジウムを開催しました。また、ESDフィールドワークショップとして、本市井内地区の農家を訪問し、川内公民館で婦人会のお接待による市民や子どもたちとの交流食事会を行いました。

主催:愛媛大学

共催:外務省、モザンビーク大使館、国際連合大学(UNU)、NPO 法人えひめグローバ

ルネットワーク、東温市

協力:地元農家、婦人会

省エネ四国サミット

「四国から STOP!温暖化〜省エネサミットinえひめ〜」 テーマ:ロハス生活始めましょう! (フードマイレージを考える)

- 1) 基調講演 愛媛大学農学部教授 胡柏先生 「温暖化と旬産旬消・地産地消」
- 2) パネルディスカッション (愛媛大学農学部、JA フレッシュ市場、コープえひめ、 ちりつも共和国)
- 3) ロハスタウン東温市の取り組みについて(記録 DVD・発表)
- ・楽しみながらできる地球環境にやさしいロハス生活の推奨を 目的とします。
- ・東温市や県産の食材・木材の「地産地消」「地材地消」の推進による CO₂ 削減・温暖化防止を目的とし、フード&ウッドマイレージを考える機会を持ってもらうための活動とシンポジウムを開催しました。



資源循環を活かした食育の推進

市内の事業者が連携した地域資源の循環システムで、安全・安心な農作物を生産し 地元で消費する地産地消の「環」を実現している仕組みです。子どもたちの食育や循 環教育にも活用されています。

東温市学校給食センターでは、給食残さの堆肥化にも取り組み、その堆肥を使って「さくら市場給食部会」登録農家が減化学肥料で育てた農作物を給食センターに納入する資源循環農業の仕組みを構築しています。さらに農家との交流給食会を行ったり、栄養士が各学校を訪問し食育授業を実施しています。



子どもの環境学習支援制度「とうおんエコ・キッズポイントプログラム」

環境教育やエコ活動に取り組む学校を支援する事業です。里山保全活動等に参加した児 童にスタンプを発行し、学校には認定書と活動で使用する教材等の支援をしています。





とうおんエコ・キッズポイントプログラムフロー図

とうおん 太陽の恵み スマイル 💡 ブロジェクト

学年

認定書



東温市 子どもの環境学習後押し制度

を後押ししようと、東温市は本年度、市内 7 小学校を対象に「とうおんエコ・キッズ ポイントプログラム」を始めた。エコ活動 などの参加者に発行するスタンプ数などに 還元する制度で、市環境保全課は「子ども たちの環境への興味を高め、取り組みの輪 を循環させたい」と話している。

4~6年生 頑張り評価 達成感に



01年ごろから住民や企業 と協力し、子どもが地球温 と協力と、子どもが地球温 業活動などと連携させ、環り組んでいる森林保全や農 を推進。 各学校が独自に取

環 けて米作りなどを学ぶ自然 田で、西谷小(同市則之内) 5月上旬、同市井内の 環境教育で必要な教材など

認「スタンプはうれしくて、とい」、水口望未ごん(1)はという。 が、成感につながる。さらに励 が、論も「子どもの頑張りを新 しい形で評価できるので達 しい形で評価できるので達

は、来年度以降も継続予定で、同談は「子がものやるで、同談は「子がものやるで、同談は「子がものやる」を引き出すさっかけとし、気を引き出すさっかけとしい。 いっとから環境に関心を いっとから環境に関心を かいっとから環境に関心を かいっとから環境に関心を かいっとしている。

なども見込んでいるとい

励む西谷小の児童ら した西谷小の児童の泥だらけになりながら田植えに

スタンプカード

8.8

出典:愛媛新聞 (平成28年5月23日朝刊)

住民の協力で10年以上 を味わった児童は、カ を味わった児童は、カ を味わった児童は、カ いわった児童は、カードン、有機栽培小麦のパン

↑ 同課によると、昨年10月 ・ 眼鏡などの要望があった。 ・ 天では大援品として図鑑や双 ・ 大きではでし、各校か ・ 大きではでし、各校か ・ 大きでは、一方ではでして、日本では、 ・ 大きによると、昨年10月

2 環境保全活動の推進

本市の環境保全活動は、「東温市美しいまちづくりサポーター制度」による地域の環境保全や美化活動をはじめ、市民団体などの積極的な活動が行われています。

今後は、環境保全活動に関する情報を市民へ発信するとともに、各団体相互の情報交流 の活性化や、事業者等との連携の拡大により、問題解決の早期化や新たな取り組みの創出 などの相乗効果を発揮する体制や仕組みづくりが期待されます。

また、市民とともに地域の環境保全活動に積極的に取り組み、活動をリードしていく人 材の育成を継続的に進めていくことも求められます。

(1) 地域の環境保全活動の推進と支援

身近な地域の環境問題やまちづくりの課題に対する取り組み、地域の学習活動や環境保全団体の活動を推進するとともに、各種の活動の拡大に向けた支援体制を充実させます。

---- 市民·事業者·市の取り組み

市民の取り組み

- 「広報とうおん」や市のホームページなどの情報から、地域の環境に関する理解を 深めます。
- 地域の美化活動や「東温市美しいまちづくりサポーター」の活動などに積極的に参加します。
- 身近な自然観察会、自然環境保全活動や体験会、環境に関する勉強会などに積極的に参加します。
- テレビや新聞、雑誌、インターネットなどを利用し、地球環境問題やエネルギー問題について認識を高めます。

事業者の取り組み

- 「広報とうおん」や市のホームページなどの情報から、地域の環境に関する理解を 深めます。
- 事業活動の特性や状況に応じて、地域環境の保全や美化活動に取り組みます。
- 地域の環境保全活動へ積極的に参加・協力します。

市の取り組み

- 「広報とうおん」や市のホームページを通して、地域のさまざまな環境に関する 情報や、環境保全活動に関する情報を発信、提供します。
- 地域環境の保全・美化などの活動の状況に応じて、情報、人材、設備、場所、連携などの支援を充実させていきます。

(2)地域連携による活動の推進

効果的な活動の推進に向け、地元の各種事業者、エネルギー関連事業者、金融機関など との連携体制を構築します。

また、これまでの環境保全の取り組みの中で築いてきたネットワークを活かし、地域の 環境保全活動をリードする人材の育成・確保を進めます。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 地域が連携して進める地産地消の取り組みやエコ・キッズ支援事業などに積極的に 参加します。
- 経験や知識を活かし、環境学習の講師や環境活動のリーダーとして地域の環境保全活動に貢献します。

事業者の取り組み

- 地域の環境及び環境保全の取り組みや活動に関心を持ち、情報を収集します。
- 地域が一体となった環境保全活動へ積極的に参加・協力します。
- 事業活動の特性や状況に応じて、地域の団体や市の取り組みとの積極的な連携に努めます。

市の取り組み

- 各種活動団体相互の情報交換や交流の機会や場を充実させます。
- 地域の連携・協働が求められる取り組みに関する情報を積極的に発信します。
- 県内及び地元事業者との連携した取り組みを充実させます。
- 関係機関、環境活動団体、事業者、個人などとの幅広いネットワークをつくり、 指導者やリーダーの育成・確保に努めます。

地域の環境保全活動の状況

本市の環境保全活動では、「東温市美しいまちづくりサポーター制度」により市民のボランティアグループ(サポーター)を募集し、公園、道路、河川等の公共施設の保全・管理、地域の自然や景観の保全、美化活動を行う、市民参加型の美しいまちづくりを推進しています。

市民が自ら展開している環境保全活動としては、「えひめ千年の森をつくる会」が森や田んぼの活動など自然環境教育に取り組んでいます。

そのほか、中学校でのアルミ缶回収や、公民館活動での「花いっぱい運動」など地域が連携し、まち全体で環境を重視したまちづくりを進めています。

東温市美しいまちづくりサポーター制度

一定区画の公共の場所を、市民が愛着をもって保全、美化・清掃などの世話をし、 行政がこれを支援します。全国各地で推進されている取り組みです。

長年活動を続けている婦人会などを含め現在 27 団体が登録されています。なお、 長年にわたり社会奉仕活動を行ったとして、「花づくりボランティア」が平成 28 (2016)年11月に緑綬褒賞を受賞しました。



緑綬褒賞の受賞





花の植栽

重信川クリーン大作戦

河川の美化活動として、「重信川の自然をはぐくむ会」(秋期のみ「重信川美化推進の会」が共催)が重信川クリーン大作戦を年2回実施しています。





清掃活動

川内中学校のリサイクル活動

川内中学校では、平成 14 (2002) 年から生徒会がアルミ缶回収活動を行っています。この活動は、地域の協力のもと回収したアルミ缶を換金して車いすを購入し、地域の福祉施設や病院に寄贈するのが目的で、この取り組みが認められ平成 19 (2007) 年に全国アルミ缶リサイクル協会の優秀校賞を受賞しました。

なお、これまで 17台 (平成 28 (2016) 年末現在) を寄贈することができました。

[活動の流れ]

- ① 地域の方々にアルミ缶回収の協力を呼びかける
- ② 地域の方々にアルミ缶を回収場所(川内郵便局、川内中学校)に持参してもらう
- ③ 生徒がアルミ缶を川内中学校に運び麻袋に詰め替える
- ④ 業者に引き渡し換金する
- ⑤ その収益金で車いす(市内 福祉機器メーカー)を購入する
- ⑥ 地域の福祉施設や病院に寄贈する





写真:川内中学校

3 食の安全・安心の確保

近年、異物や不適格な食材の混入など、食の安全・安心をゆるがす事態が発生しており、 市民の食に対する関心が高まっています。

食品の製造・流通段階における衛生管理の徹底を図るとともに、市民への安全・安心な 食に関する情報提供により意識と知識の向上を図ります。

市民・事業者・市の取り組み ――

市民の取り組み

- 食の安全・安心に関する情報を入手し、安全な食生活を実践します。
- 地域の産品を購入する地産地消に取り組みます。
- 子どもたちへの食育の情報を入手したり、郷土の食文化や郷土料理に関心を持つように努めます。

事業者の取り組み

- 食品製造事業者は、衛生管理を徹底するとともに、流通状況等の情報を消費者に 提供します。
- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業に努めます。
- 地域の産品を購入・使用する地産地消に協力します。

市の取り組み

- 関係機関と連携した食品製造・流通関係事業者への食品衛生管理法等に基づいた 衛生管理の徹底を図ります。
- 「広報とうおん」や市ホームページなどにより食の安全・安心に関する情報を積極的に発信します。
- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業の普及 を図ります。
- 関係機関、地元事業者と連携し、安全な地元食材の地産地消を推進します。
- 子どもたちへの食育を推進するとともに、食育に関する情報を発信し市民の意識を 高めます。

第2次愛媛県食の安全安心の推進に関する計画

本計画は、県民が「食の安全安心」を実感し、将来に向かってえひめの豊かな食文化を次の世代に継承するとともに、えひめの食の安全安心を国内外に発信していけるよう、「安全安心・豊かなえひめ食文化の継承と発信」をスローガンに掲げ、県や食品関連事業者、県民が取り組む施策の方向や具体的な取り組みを示しています。

目 標:安全安心・豊かなえひめ食文化の継承と発信

基本施策: [生産から消費に至る食の安全安心の確保

Ⅱ グローバル化に対応した食の安全安心の確保

Ⅲ 相互理解と協働による食の安全安心の確保

第2次愛媛県食の安全安心の 推進に関する計画

計画期間/平成27~31年度





安全安心・豊かなえひめ食文化の継承と発信

愛媛県食の安全安心の推進に関する計画(概要版)

第2次東温市食育推進基本計画

第2次東温市食育推進基本計画は、食を通じて市民の健康を維持し豊かな人間性を育むために、家庭・学校・地域等のさまざまな分野が連携して、食育を推進する計画です。

基本理念

基本目標:

自然の恵みと地域のつながりを考え、「食」と「食に関わる人々」への感謝と思いやりの心を深め、食べることの大切さを理解することにより、安全・安心な食べ物を選択する力や健全な食生活を身につけることを目指します。

- ●毎日きちんと朝食を食べる習慣を身につける
- ●バランスのとれた食事を、おいしく食べる食習慣を身につける
- ●食への感謝の心を育み、豊かな人間形成を目指す
- ●食の安全・安心に関する理解を深める
- ●食を選択できる力をつける
- ●地産地消に取り組む
- ●郷土料理や行事食など、伝統ある食文化を継承する

地元特産品を使った地産地消メニューの開発



ほっちょ丼

愛媛県養鶏研究所が開発した『媛っこ地鶏』と同系統で、東温市では『ほっちょ鶏』の名でブランド 化されている。



東温汁と麦ご飯

東温市産もち麦粉の団子、里芋等が 入った鶏がらスープのお汁

食育とは

食育基本法では、食育は生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられており、さまざまな経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることとされています。

地場産給食の取り組み

東温市学校給食センターでは、市内の小・中学校9校、幼稚園5園、1保育所、合わせて3,400人分の給食を1日に作っています。子どもたちに旬の食材を安心して食べてもらうため、地場産給食に取り組んでいます。

学校給食センターでは、月に一度、栄養士と契約農家が集まる「さくら市場給食部会」を開き、旬の野菜や納品スケジュールについて話し合い、栄養士はこのスケジュールをもとに献立をたてます。このように農家と栄養士が連携することで、農家がムダなく効率よく野菜を収穫し、給食として消費することができます。



また、年に一度、生産農家が学校を訪れ、子どもたちと一緒に給食を食べる「交流給食会」を開催しています。子どもたちは、生産者の顔を見ることで、食べ物を大切にすることを学び、生産者は、消費者の顔を見ることで、さらに意欲的に生産活動に取り組むことができます。



平成 24 (2012) 年度から、通常可燃ごみとして処理される給食の生ごみを回収し、 堆肥としてリサイクルする取り組みを始めています。生ごみは、食品リサイクルの新鋭 設備を持つ株式会社ロイヤルアイゼン(松山市)の専用プラントで堆肥化し、これを市 内の学校給食の契約農家が野菜の土づくりに使用しています。

これらの取り組みによって、地場産物活用率は63.8%(平成27(2015)年度)と 県内1位を誇っています。【参考:平成27年度愛媛県市町実績38.1%】

なお、自園調理式の5保育所でも、学校給食センターの仕組みを活用し、地場産給食の取り組みを進めていきます。







食育遠足(椎茸植菌体験)

「ふくさの森」では、市内の園児を対象に椎茸の植菌体験をしてもらい、自らが食べ物の生育に関わることにより、好き嫌いや食わず嫌いをなくし、食べ物への感謝の気持ちを育てる「食育遠足」の取り組みを行っています。





椎茸植菌体験

食育フードマイレージ学習(小学校出前授業)

フードマイレージとは、食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標を指し、単位は t・kmで表します。「食育フードマイレージ学習」では、一食分のメニューを考え、 食料の総輸送量や距離から、地球環境に与える負荷を把握します。

- ①産地、輸送距離、輸送方法
- ②購入場所、購入場所への移動方法
- ③昭和30年代と現代の比較
- ④季節、育て方

以上の点を考えながら、地元の旬の食材を消費することが、安価で新鮮かつ栄養価も高く、環境にもやさしいことに気付き、地産地消や旬産旬消の大切さを学ぶことがねらいで、このプログラムは、愛媛大学が小学校の出前授業で実施しています。





給食フードマイレージ学習(小学校出前授業)

4 環境と経済の好循環

持続可能な社会を構築していくためには、環境を良くすることが経済を発展させ、経済 の活性化がさらに環境の改善につながることから、「環境と経済の好循環」を実現すること が重要です。

本市では、地域で創り出された環境価値(クレジット)を地域で活用し、地域経済の活性化を目指してきた「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」の実績をもとに、地域のより良い環境づくりと、地域の製造業や農業、商業、観光、金融その他のサービス業など、さまざまな事業者と連携し、地域が一体となって取り組む「環境と経済の好循環」の発展を目指します。

--- 市民·事業者·市の取り組み -

市民の取り組み

- 「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」を利用します。
- 農産品など地元産品の地産地消に努めます。
- 市内の事業者が製造・販売する製品やサービスを購入・利用するよう努めます。

事業者の取り組み

- 「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」への商品やサービスの提供など、積極的に参加、協力します。
- 環境に配慮した製品の開発・製造・販売・利用に努めます。
- 市内事業者や環境団体、また、市の事業と連携した取り組みに努めます。

市の取り組み

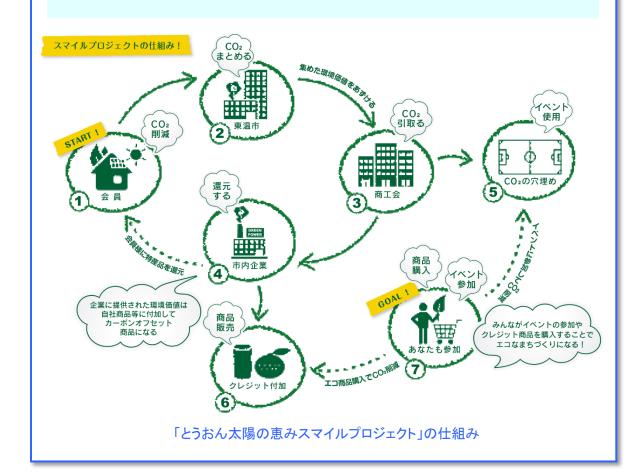
- 「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」の普及を促進します。
- 市民や事業者に対して、環境に配慮した製品やサービスの情報を発信します。
- 環境に関する積極的な情報発信などにより、事業者の事業活動と地域環境の保 全・創出の取り組みとの連携を支援します。

とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト

本市では、経済産業省所管の「国内クレジット制度」を活用した CO₂ 排出削減事業に取り組んできました。この「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」は、平成 22 (2010) 年 10 月 1 日に計画承認を受けたもので、環境と地域経済の活性化を同時に目指す取り組みとしては、全国初のプロジェクトです。

住宅に太陽光発電設備を設置し、会員登録した市民で組織する「東温市環のまちづくり推進会」を立ち上げ、CO2排出量を削減した家庭に、市商工会を通じて市の特産農産品・加工品である「はだか麦・もち麦」を使った味噌や菓子、どぶろくや清酒などを還元します。いわゆる「太陽の恵み」を会員に還元する仕組みとしたことからプロジェクトを命名しました。平成27(2015)年度までに16事業所と連携し、18品目の市特産商品を還元しています。

また、地域で創り出されたクレジット(環境価値)を地域で活用することで、地域経済の活性化を目指す「地創地活プロジェクト」も併せて展開しています。このプロジェクトで認証された排出権 243t-CO₂を市商工会が取得し、市内で開催される「観月祭」、「どてかぼちゃカーニバル」、「坊っちゃん劇場ミュージカル」などイベントで排出される CO₂のオフセットに活用しています。



とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム

市内事業者がCO₂削減活動を環境価値として活用する取り組みです。

市内事業者が、1 枚につき 1kg の CO₂削減につながるポイントシールを商品やサービス等へ付与して発行し、市民がポイントを収集することによって商品やサービスと交換できる特典が得られます。

市民・事業者・市が連携した CO2 削減活動を推進していきます。

東温市

ポイントプログラムの運営

① ポイントの発行

市内の住宅および給食センターにおける CO₂ 削減量をとりまとめ、1kg/枚のカーボン・オフセット機能をもつポイントシールの発行を行う。





② 交換商品の提供

市民が集めたポイントシールに応じてカーボン・オフセット証書カードを発行し、 CO_2 削減の活動に貢献したことを説明するほか、地元の特産品などの特典も予定。



企業等による ポイントシール活用



市内事業者

ポイントスキームへの参加

商品ヘシール付与

ポイントシールを付与し、商品の環境貢献イメージを向上させるとともに、シール目的の購入増加を狙う。





収集したポイントシール による特典交換



市民



環境商品の購入による ポイントシール収集

ポイント付き商品の購入とポイントの収集

ポイント付き商品を購入し、台紙でポイントシールを集めることで、地元の企業とともに市内のCO2削減活動を応援することにつながる。





「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」の仕組み



「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」の交換商品例

Ⅱ 環境のエコロジー(地球環境・自然環境)

1 地球温暖化対策の推進

深刻化する地球温暖化をはじめ、気候変動や生物多様性の損失、廃棄物などの地球規模の環境問題は、異常気象や局地的な風水害、国境を越えた汚染物質の飛来など、私たちの身近な生活環境でも顕在化しています。これまで以上に、地球環境を意識した生活スタイルの見直しと、地球環境にやさしい行動を確実に実行していくことが重要となっています。

本市では、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の形成を目指す「東温市環のまちづくりプロジェクト~ロハスタウンを目指して~」を掲げ、あらゆる分野で環境保全の視点を取り込んだ施策を推進し、確実にその成果をあげてきました。アンケートでは、市民・事業者ともに「最近のエネルギー消費量は減っている」との回答が多く、地域全体の省エネルギーの意識が高まっていることがうかがえます。

今後とも、これまでの取り組みを継承・発展させながら、市民・事業者との協働のもと、 低炭素社会及び循環型社会の形成を進めていくことが求められます。

(1)省エネルギーの推進

省エネルギーに関わる市の率先した取り組みとともに、市民・事業者への情報提供や啓発、普及促進や導入支援策の展開などにより省エネルギーの実践を促進します。

また、エネルギー関連事業者や地元事業者との連携、地域が一体となった省エネルギーの取り組みを拡充し、本市のエネルギー消費量の削減を目指します。

- 市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 家電は、エネルギー効率の高いものを選びます。
- 日常の生活の中で、緑のカーテン、打ち水、よしずの利用など、省エネルギー対策を実践します。
- 自動車の運転時は、アイドリングストップ、やさしい発進と加速をするエコドライブを実践します。
- 公共交通機関や自転車の利用など、温室効果ガスを可能な限り排出しないライフスタイルを実践します。
- 住宅の新築や改築にあたっては、CO2の排出量が少ないスマートハウスの導入を 検討します。
- 自家用車の買い替え時には、ハイブリッド自動車や電気自動車、クリーンディーゼル車など環境性能の高い車両の購入を検討します。
- 「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」など市民参加型の CO₂削減の取り組みに積極的に参加します。
- フードマイレージ*の観点から、地元の産品の地産地消に協力します。

事業者の取り組み

- 事業所内での省エネルギーに取り組むとともに、建物や設備の省エネ改修を検討します。
- 事業の特性に応じて環境マネジメントシステム*の導入やESCO事業*やリース 手法の活用を検討します。
- 従業員の省エネルギー意識を高め、設備の稼働や車両の運転時の省エネルギーを 実践します。
- 社用車の購入や買い替え時は、環境性能の高い車両の購入やリースを検討します。
- ビルなどのエネルギー使用量を最適に管理するシステム(BEMS)の導入を検討します。
- □ 環境に配慮した製品の開発・製造・販売・利用に努めます。
- 食品廃棄物の堆肥化と農地還元による循環型農業に取り組みます。
- フードマイレージの観点から、地産地消に努めます。

※環境マネジメントシステム:組織や事業者が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、達成に向けて取り組む ための体制や手続等の仕組み。

※ESCO事業: 省エネルギー改修で実現する光熱水費の削減分等で改修にかかるすべての費用をまかない、 ESCO事業者は、省エネルギー効果の一部を報酬として受取る契約。

市の取り組み

- 公共施設の新築・改修時には、省エネルギー機器の導入、ESCO事業やリース手法の活用、省エネルギー型の建築設計などに努め、地域への省エネ意識の啓発を図ります。
- 家庭の省エネ活動を支援する省(笑)エネ得々キャンペーンの推進や緑のカーテンの普及啓発を継続します。
- 公用車への電気自動車など環境性能の高い車両を率先して導入するとともに、充電設備を計画的に整備し、地域への啓発と普及促進に活用します。
- 「路線バス親子体験教室」などにより、公共交通機関や自転車などの利用を促進します。
- CO₂などの排出を抑えるスマートドライブの普及を啓発します。
- 環境にやさしい製品の取り扱いや循環型農業など、環境に配慮した事業活動の情報提供と普及 啓発を図ります。
- 「とうおんカーボン・オフセットポイントプログラム」など市民参加型のCO₂削減の取り組み やパートナーシップ事業を展開していきます。
- フードマイレージの観点から地産地消を推進します。



電気自動車(EV) (日産自動車㈱から貸与)

省(笑)エネ得々キャンペーン

省(笑)エネで東温市特産品を当てよう! 目指せ削減率NO.1

夏期(7, 8, 9月)と冬期(12, 1, 2月)の2回開催しており、いずれかの月の電力検針票をチェックしてもらいます。前年同月と比べて電気使用量が最も削減されている家庭には東温市特産品セットを、削減を達成した家庭には東温市産の「押はだか麦」と「もち麦粉」を、東温市学校給食のレシピとともにお送りし、各家庭で楽しみながらエコ活動を行えるようキャンペーンを実施しています。



東温市特産品セット



押はだか麦・もち麦粉

東温市「おせっかい型カーボン・オフセット」



坊っちゃん劇場ミュージカル 「誓いのコイン」ロシア公演 「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」で認証された排出権を活用し、坊っちゃん劇場ミュージカルなどイベントで排出されるCO2のカーボン・オフセットを行っています。

四国遍路の「お接待」の文化にあやかって、 市自らがオフセットを行う「おせっかい型カー ボン・オフセット」を実施しています。

> 東温おせっかい型 カーボン・オフセット



坊っちゃん劇場ミュージカル 「お遍路さんどうぞ」

写真:坊っちゃん劇場

(2) 再生可能エネルギーの利用促進

地域の資源である再生可能エネルギーの創出と利活用を推進します。太陽光発電・太陽熱高度利用をはじめ、バイオディーゼル燃料(BDF)や木質ペレットなどのバイオマスエネルギー、小型風力発電、小水力発電、温泉熱利用など地域の資源と状況に応じて積極的な導入と活用を図ります。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 廃食用油の回収など、地域資源から創った再生可能エネルギーを利用する仕組みに協力します。
- 太陽光発電や太陽熱高度利用など、住宅の状況に応じた再生可能エネルギーの利用設備を導入します。
- 住宅の新築や改築にあたっては、太陽光発電のほか高効率なエネルギー活用を行うスマートハウスの導入を検討します。

事業者の取り組み

- 地域で取り組む再生可能エネルギーの活用やカーボン・オフセットの取り組みに 参加・協力します。
- 再生可能エネルギー設備の導入支援制度などの情報を活用して、事業所に最適な 設備の導入を検討します。
- エネルギーの利活用にあたっては、再生可能エネルギーに由来する電力や熱、燃料を優先して消費するよう努めます。
- 太陽光発電のほか高効率なエネルギー活用を行うスマートハウスの供給に努めます。

市の取り組み

- 公共施設の改修時などには、多様な再生可能エネルギー利用設備 を率先して導入します。
- 木質バイオマスの積極的な利用と安定確保に向け、販路のない間伐 材や林地残材などを市内事業者で使ってもらう「きこりの森くらぶ」 などを推進します。
- 県産ペレットを使用するストーブの普及を促進します。
- 「広報とうおん」や市のホームページを通して、地域の再生可能エネルギー利用設備の導入に関する支援制度や設備情報を発信、提供します。

小型風力発電設備

- 写真:(株)シルフィード
- 福祉施設等の新設・改修等の機会には、太陽熱利用設備の導入を推奨し、普及拡大 を図っていきます。
- 事業者に向けた再生可能エネルギー設備の導入支援を充実し、普及を図ります。

太陽熱利用設備の普及

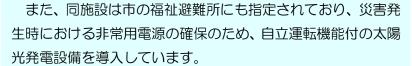
太陽熱利用設備は、エネルギー変換効率が高く、温室効果ガスの削減効果が高い設備ですが、太陽光発電設備に比べて普及が進んでいないのが現状です。

本市には、福祉施設等の給湯需要が多い施設が多く立地しているという特性があることから、太陽熱利用設備の普及拡大を図っていきます。

高齢者総合福祉施設「ウェルケア重信」の取り組み

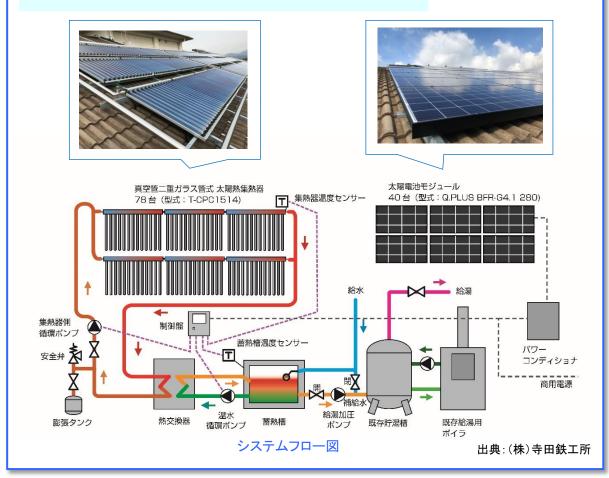
社会福祉法人喜久寿「高齢者総合福祉施設ウェルケア重信」は、屋根に真空二重ガラス管式太陽熱集熱器を 204.3m²、太陽光発電 11.2kW を導入しています。

同設備を導入することによって、水道水を約15℃から60℃まで昇温させていた給湯用ボイラの灯油消費量を大幅に削減することができ、CO2削減効果は、年間45.8t-CO2を見込んでいます。





ウェルケア重信

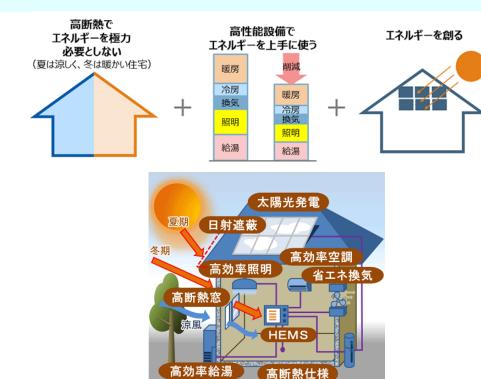


ゼロ·エネルギー·ハウス(ZEH)の普及促進

ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)とは、外皮の高断熱化、エネルギー管理機器や 再生可能エネルギー設備、省エネルギー技術等の導入により、年間の一次エネルギー使 用量が正味(ネット)でゼロとなる住宅のことです。

国は、平成 26 (2014) 年 4 月に閣議決定された「エネルギー基本計画」の中で、「平成 32 (2020) 年までに標準的な新築住宅で、平成 42 (2030) 年までに新築住宅の平均で ZEH の実現を目指す」という政策目標を示しています。また、この目標を達成するため、経済産業省では「ZEH ロードマップ検討委員会」を設置し、平成 27 (2015) 年 12 月にそのとりまとめを発表しています。

市では、平成 28 (2016) 年度から、ZEHに対する補助を開始しました。今後、国の政策に連動し導入を促進していきます。



ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の概念図

出典:経済産業省 HP

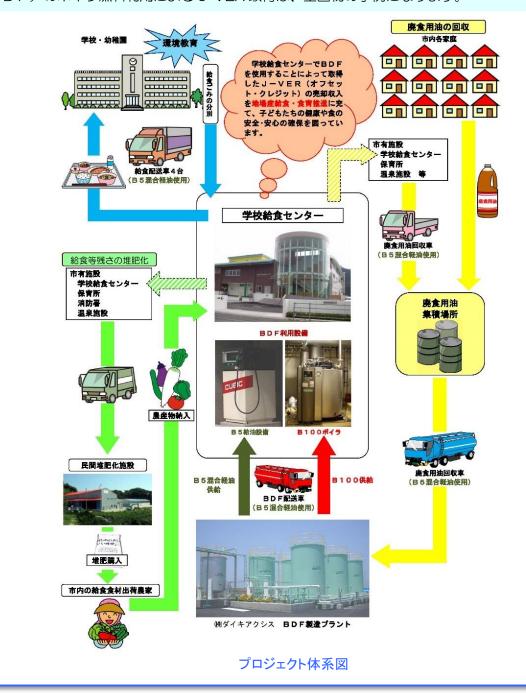
太陽光発電設備の普及

平成 28 (2016) 年度末推計での太陽光発電システムの累計導入基数は 1,180 基、累計導入量は 5,014kW、一戸建住宅への導入率は 12.2%であり、全国及び愛媛県の平均導入率と比較して約 2 倍と非常に普及が進んでいます。そのために、「太陽の恵みスマイルプロジェクト」等の独自プロジェクトが生まれました。経済産業省によれば、本市には平成28 (2016) 年 10 月末現在で、10kW 未満の太陽光発電が 5,728kW (1,229 件)、10kW 以上が 14,803kW (253 件) が導入されています。

J-VER「東温市学校給食センターBDF利用プロジェクト」

市では、廃食用油を一般家庭や学校給食センター等から回収して、それを原料とするバイオディーゼル燃料(BDF)を、株式会社ダイキアクシスのプラントで製造し、学校給食センターの調理用ボイラの燃料として利用するエネルギーの地産地消に取り組んでいます。

国のオフセット・クレジット(J-VER)制度を活用してCO₂排出量の削減分をクレジット化し、「食育貢献型J-VER」として売却収入を「ふるさと基金」に積み立て、学校給食センターで実施する地場産給食や食育の推進に活用しています。なお、バイオディーゼル燃料(BDF)のボイラ燃料利用によるJ-VER取得は、全国初の事例になります。

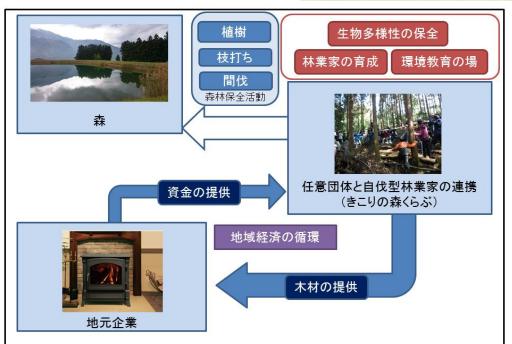


きこりの森くらぶ

「きこりの森くらぶ」は、西谷小学校と連携した自然体験教室を支えてきた実績を活かし、地域の青少年のために森の中での自然体験の楽しさを提供し、森への関心を高めることを目的に結成されました。

「きこりの森くらぶ」で伐採した間伐材を地元 企業やカフェ等に販売することで環境と経済の 好循環の仕組みを創っていく計画です。





環境と経済の好循環の仕組み

出典:きこりの森くらぶ事務局(えひめ千年の森をつくる会)

「地材地消」プロジェクト

愛媛県では、地域材利用木造住宅利子補給制度などがあり、住宅の県産材利用促進を進めています。市では、「地材地消」プロジェクトにより公共施設の木質化、県産材利用促進を図っています。



民間団体とメディアの連携支援事業

環境省の「地球温暖化防止に係る国民運動における NPO・NGO 等の民間団体とメディアとの連携支援事業」の採択を受け「えひめ千年の森をつくる会」と南海放送等民間放送 4 社が連携し、愛媛県・東温市が後援した温暖化防止活動を広げる「森を愛する愛媛から もりもり CO2ダイエット!」のキャンペーンを全県で展開しました。

木を燃焼して発生する CO₂を森林が吸収するカーボンニュートラルの考えから、森林 保全活動への参加を促進し、活動で生まれた間伐材をペレット・薪としてストーブに利 用する循環型ライフスタイルの推進等の内容で 30 分番組を 1 本、15 分番組を 3 本、 15 秒 CM を計 120 本放送し、内容をまとめた記録 DVD を製作しました。



出典:えひめ千年の森をつくる会

(3) 環境と防災の総合施策の展開

公共施設や避難場所指定施設などの非常用電源の確保とともに、大規模な再生可能エネルギー設備のエネルギーを災害時に利用できるようにするなど、再生可能エネルギーを活用した防災対策を進めます。

また、温室効果ガスの排出削減に向け、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(二賢い選択)」など総合的な対策を推進します。これは、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など温暖化対策に貢献し、さらに快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 太陽光発電や燃料電池などの自立運転機能により、停電や災害時の電力を確保します。
- 温室効果ガスの排出削減の観点から、ごみの排出量抑制や分別の徹底に努めます。
- フロン類が使用されている製品は、適切に処理します。

事業者の取り組み

- 太陽光発電や燃料電池などの自立運転機能により、停電や災害時の電力を確保します。
- 温室効果ガスの排出削減の観点から、廃棄物の排出量抑制や分別の徹底に努めます。
- フロン回収が適切に行えるよう、フロン排出抑制法*を遵守します。

市の取り組み

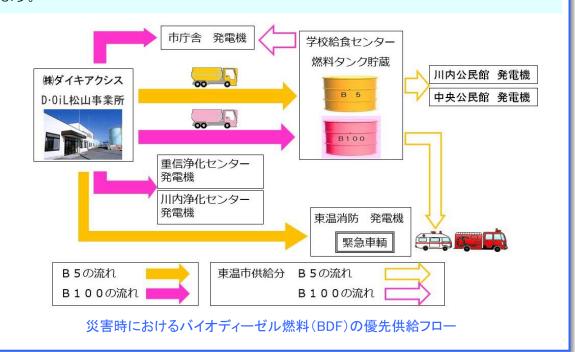
- 松山地方気象台による出前講座を通して、地球温暖化と異常気象のつながり、急な 大雨・土砂災害等から身を守る方法を学ぶ「防災教育」を推進します。
- 公共施設及び避難場所指定施設に設置されている太陽光発電設備には、自立運転機能を追加し、災害時の非常用電源を確保します。
- 一般住宅に対しても、自立運転機能付の太陽光発電設備や燃料電池などの導入を推進し、地域の防災機能の強化を図っていきます。
- 防犯灯のLED化を推進します。
- フロン類の大気中への排出を抑制するため、フロン排出抑制法*についての情報提供や普及啓発に努めます。
- 温室効果ガスに関する情報収集と情報発信を行います。また、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。
- 「東温まるごと COOL CHOICE プロジェクト」を推進します。

※フロン排出抑制法:「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」。フロン類の排出抑制のため 業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器の管理者に機器及びフロン類の管理を義務付ける。

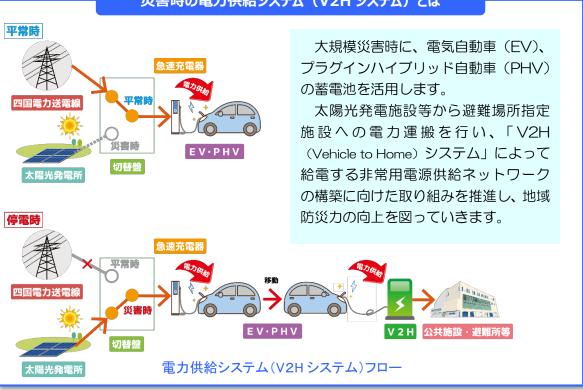
災害時のバイオディーゼル燃料(BDF)の優先供給

本市では、株式会社ダイキアクシスと大規模災害時における非常用発電機及び緊急車両へのバイオディーゼル燃料(BDF)の優先供給に関する協定を結んでいます。

これによって、全国的な燃料不足の発生が懸念される大規模災害時に、優先的にバイオディーゼル燃料 (BDF) の供給を受けることができるため、地域防災力の強化が期待されます。



災害時の電力供給システム(V2H システム)とは



地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」

日本の平成 42 (2030) 年度の温室効果ガスの排出量を、平成 25 (2013) 年度 比で 26%削減するという目標達成のために、世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・ サービス・ライフスタイルなど、温暖化対策に資するとともに快適な暮らしにもつな がる、あらゆる「賢い選択=COOL CHOICE」を促す国民運動です。

COOL CHOICE 一言でいうと

毎日の自分の生活で使う電気、ガス、自動車などから出る CO₂を減らす、「賢く」・「かっこいい」選択のことです。



- ◆クールビズ、ウォームビズの実施
- ◆省エネ家電・機器の買替
- ◆住宅の省エネ化
- ◆エコカーへの転換、エコドライブの実践、公共交通の利用
- ◆地産地消など

家庭で始める温暖化対策

■冷蔵庫

- ①設定温度を強から中にする。
 - ⇒年間で 30.1 kgの CO2 削減、約 1,360 円の節約
- ②壁から適切な間隔で設置する。
 - ⇒年間で 22.0 kgの CO₂削減、約 990 円の節約
- ③ものを詰め込みすぎない。
 - ⇒年間で 21.3 kgの CO₂ 削減、約 960 円の節約

■照明器具

- ④白熱電球を LED 電球に取り替える。
 - ⇒年間で 43.8 kgの CO₂ 削減、約 1,980 円の節約

■テレビ(液晶)

- ⑤見ないときは消す。
 - ⇒年間で 8.2 kgの CO₂削減、約 370 円の節約
- ⑥画面は明るすぎないようにする。
 - ⇒年間で 13.2 kgの CO₂削減、約 600 円の節約

■エアコン

- ⑦冬の暖房時の室温は20℃を目安に。
 - ⇒年間で 25.9 kgの CO₂ 削減、約 1,170 円の節約
- ⑧暖房は必要な時だけつける。
 - ⇒年間で 19.8 kgの CO₂削減、約 990 円の節約
- ⑨フィルターを月に1回か2回清掃する。
 - ⇒年間で 15.6 kgの CO₂削減、約 700 円の節約





出典:「家庭の省エネ百科」(経済産業省 資源エネルギー庁 平成 26(2014)年3月発行)

東温まるごと COOL CHOICE プロジェクト

- 1. 環境教育(環境と教育)
- 2. 地産地消・食育・特産品の PR (環境と健康)
- 3. イベント連携活動・交通の PR (環境と経済、環境と観光、環境と交通)
- 4. エコ住宅の普及促進(環境と建築、うちエコ診断など)



地産地消

地産地消商品は、産地からの輸送による CO2排出量が少ないよ。 選ぼう地産地消商品!

店頭での地産地消普及

「うちエコ診断」では、家庭の省エネ・省 CO₂ 対策の専門家「うちエコ診断士」が、家庭の光熱費や CO₂ 排出量を「見える化」し、受診家庭のライフスタイルや住まいの状況に合わせた適切なアドバイスや提案を行います。



地場産給食(東温汁)



うちエコ診断チラシ

出典:愛媛県地球温暖化防止活動推進センター

2 循環型社会の構築

本市のごみの年間総排出量は、減少傾向が継続しています。平成 25 (2013) 年度の総排出量は 7,460 t で、平成 21 (2009) 年度比で 14.3%減少しています。

市民一人一日当たりの排出量も減少しており、平成 25 (2013) 年度は 588.9gで、 平成 21 (2009) 年度比で 10.0%減少しています。また、全国平均の 678gと比較して 89.1gも少ない状況です。

平成 25 (2013) 年度のリサイクル率は 17.5%です。これは愛媛県平均の 18%をや や下回っており、自主回収等により市の回収量が減少していることが要因となっています。

市民アンケートでは、「ごみ処理・リサイクル」や「ごみ出しマナー」の状況について満足度が高く、以前に比較して良くなっていると評価されています。市民の協力のもと、ごみの回収・リサイクル・処理が適切に推進されていることがうかがえます。

今後も、リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再資源化(3R運動) を強化するとともに、廃棄物処理時の環境負荷を抑えた、あるいは負荷を与えない環境に やさしい資源の活用を進めることも求められます。

(1) 3 Rの推進

3R 運動の浸透・発展により「ムダのないまちづくり」を推進します。

ごみの発生を抑え、資源のリサイクルシステムの構築に向け、市民・事業者・市のそれ ぞれが担うべき役割や責任について相互に理解を深め、地域の協働により取り組みを効果 的に進めていきます。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- ごみの排出者であるという自覚をし、「もったいない」の気持ちで自らのライフスタイルを見直し、3Rを実践します。
- 廃食用油の回収に協力します。
- 買い物にはマイバッグを利用し、レジ袋の削減を実践します。
- 「広報とうおん」や市ホームページなどの情報も参考に、ごみの問題に対する理解を深めます。
- 販売店が取り組んでいる簡易包装、食品トレイの店頭回収などに協力します。
- 資源ごみは、必要に応じて洗浄するなど、速やかに資源化できるよう協力します。
- 家電リサイクル法*や小型家電リサイクル法*を理解し、家電製品の回収に協力します。
- ごみの違法な野焼き、ポイ捨て、不法投棄はしません。

※家電リサイクル法:「特定家庭用機器再商品化法」。家電製品、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を推進するための法律。

※小型家電リサイクル法:「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」。デジタルカメラや ゲーム機等の使用済小型電子機器等の再資源化を促進するための法律。

事業者の取り組み

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」に基づいて、事業系廃棄物の減量化及び資源化に努めるとともに、自らの責任において適正に処理します。
- 小売業においては、マイバッグ運動の推進、ばら売りや量り売り、リターナブル容器での販売、過剰包装の抑制などに取り組みます。
- エコマーク商品など、環境にやさしい商品を積極的に取り扱います。
- 製造工程の技術開発などにより、使い捨て製品の製造販売や過剰包装の自粛、製品の長寿命化、軽量化、薄型化など、廃棄物の発生抑制に取り組みます。
- 紙使用量の削減、廃棄物の再資源化の徹底、梱包材の再利用などに取り組みます。
- 廃棄物に対する関心や理解を深め、循環型社会の構築に向けた事業に積極的に参加、協力します。

市の取り組み

- 市民へのマイバッグの利用、生ごみの水切り、コンポストの利用といったごみを 出さないライフスタイルの普及啓発を推進します。
- 小売事業者への協力要請などにより、マイバッグ利用の促進を図ります。
- 市民・事業者に向け、まだ食べることができる食品を廃棄する「食品ロス」の削減を啓発します。
- ごみの分別の徹底などについて周知を図ります。
- 家電リサイクル法や小型家電リサイクル法の広報、周知を図ります。
- ごみ処理の現状や問題点などの情報を積極的に発信し、市民の関心を高めます。

食品残さ減量アイディア募集



自宅で出た生ごみから堆肥を作り、堆肥から できた野菜等を食べて、また堆肥化する。

ごみも減量でき、環境にやさしい素敵なリサイクルです。

食品残さ減量についてのアイディアを市民から募り、特に優れたアイディアには、市特産品を贈呈予定です。

福祉施設等と連携した資源回収「フジ ECO ひろば」

株式会社フジ(松山市)は、環境負荷の低減を目指し環境活動の一環として、店頭でリサイクル可能な資源の回収を行っています。これは、企業と社会福祉施設等が連携し、障がい者の働く場や社会貢献の機会を創出する取り組みです。

「フジ ECO ひろば」は、社会福祉施設等が定期的にショッピングセンター内に回収コーナーを設営・運営し、リサイクル資源の回収を行うものです。市民が買い物のついでにリサイクル資源を持ち寄ることで、利便性を向上するとともに、リサイクル資源の売却益を社会福祉施設の運営に役立てることができます。

株式会社フジは、リサイクル活動の場所を提供しているだけでなく、売り先をあっせんし流通経路を確保するなど、細やかな対応をしており、他にあまり類をみない先進的な取り組みです。

回収対象:空き缶、ペットボトル、古紙、小型家電、金属類、食品トレイ、 古着、使用済てんぷら油



連携先:社会福祉法人馴鹿(となかい)

開催店:フジグラン重信店

開催日:毎週金曜日



連携先:NPO法人

農業で古里創り NPO あぐり塾

開催店:フジ見奈良店

開催日:毎週月曜日

留学生のための不用品交換システム

留学生の生活支援倉庫『シリキリヤ』運営中

シリキリヤとは

留学生へ冷蔵庫や洗濯機、家具などの家財道具、自転車を提供している倉庫の名前です。「シリキリヤ」には、タミール語*で「微笑み」という意味があります。留学生への家財道具の提供を通して、みんなが笑顔になる。そんな世界を実現するために「留学生の生活支援倉庫『シリキリヤ』」を運営しています。

※タミール語:南インド地方でタミル人が話す言葉

留学生に提供している家財道具や自転車は、市民の方からの善意により寄付していただいた物です。 倉庫の維持には、まつやま国際交流センターからの助成金、並びに市民の方からの寄付金によって成り立っています。 平成 26 (2014) 年度は 700 点、平成27 (2015) 年度は 947 点の家財道具の提供・引取を行いました。

NPO 法人 SHARE LIFE DESIGN(シェア ライフ デザイン) http://www.sharelifedesign.com/shien





不要な家具・家電があればご相談ください。











※東温市内にも留学生が住んでいます。ご協力いただける場合は、NPO法人のホームページで連絡調整をお願いします。

「小型家電リサイクル法」への対応

デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等の再資源化を促進するため、 平成25(2013)年4月1日に「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する 法律(小型家電リサイクル法)」が施行されました。

本市は、ボックス回収及びピックアップ回収を実施しています。回収ボックスは、 東温市役所と川内支所の2か所に設置しています。ピックアップ回収(不燃物などの 指定袋に入れて出された廃棄物から対象品を選別する)は、委託先の中間処理業者が 自社工場内で実施しています。

平成 25 (2013) 年度に環境省「小型家電リサイクルモデル地区」指定を受けて 回収を開始し順調に推移しています。市の取り組みは、環境省事業によりメディアか ら発信されました。

【回収実績: 平成 25 (2013) 年度 12~2 月 7,005 kg、平成 26 (2014) 年度 33,069 kg、平成 27 (2015) 年度 28,498 kg、平成 28 (2016) 年度上半期 19,686 kg、合計 88,258 kg】





東温市役所

回収ボックス

川内支所

回収システムの整備

<不用品交換の推進>

ごみの排出抑制には、不用品の交換や再使用など生活様式の改善が必要です。

不用品交換を活発化させるため、市民や事業者の不用品交換会の情報・場所の提供や近隣の修理・修繕店の情報の提供など、サービスを充実させるための環境整備を検討しています。

「東温市一般廃棄物処理基本計画」

「東温市一般廃棄物処理基本計画」は、平成 28(2016)年度から平成 32(2020)年度までを計画期間とし、持続可能な循環型社会の形成に向けた施策と目標を示しています。

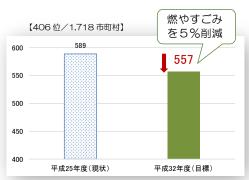
ごみ処理の基本理念

- 1. 3Rの推進
- 2. 市民・事業者・行政の協働による取り組み推進
- 3. 地域環境をはじめとする地球環境保全の推進

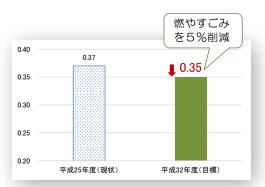


◆ごみ排出量の削減

- 家庭ごみ:一人一日当たり排出量を5%削減(557g/人・日)
- 直接搬入ごみ: -日当たり排出量を5%削減(0.35 t/日)



家庭ごみ:一人一日当たり排出量



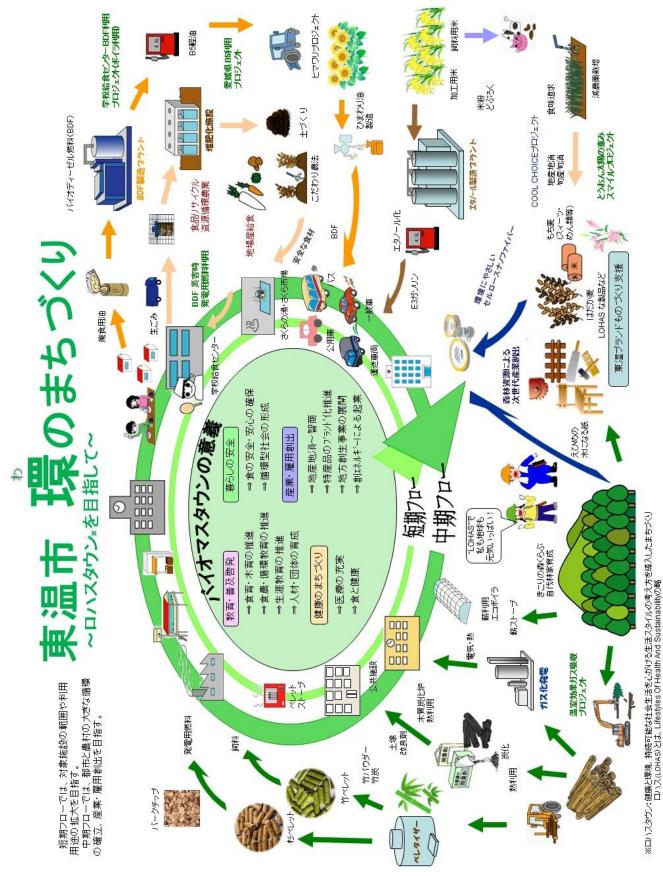
直接搬入ごみ:一日当たり排出量

◆リサイクル率の向上

● リサイクル率:目標18%



直接搬入ごみ:一日当たり排出量



バイオマス資源循環のフロー図

(2) 環境にやさしい資源の活用

一般消費生活における生活商品や生活機器・道具類、建築物材料など、使用後の廃棄処理がしやすく、再資源化しやすい商品などの使用を促進するとともに、環境にやさしい資源の有効活用を図ります。

-- 市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

商品の選択・購入にあたっては、できるだけ環境にやさしい製品を求めるよう努めます。

事業者の取り組み

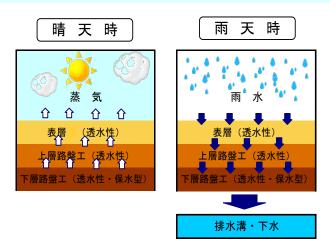
● 地域の環境にやさしい素材や製品の開発、また、環境に配慮した製品の取り扱いに努めます。

市の取り組み

- 市内事業者の技術により開発された環境にやさしい製品を市内で使う「技の地産 地消」を推進します。
- 市内事業者の製品を普及することで、さらなる開発を支援します。

温度上昇を抑制する路盤材

県内石炭火力発電所等から出る石炭灰をセメントや水等と混ぜて粒子状に固化させ、 透水性・保水性をもった資材としてリサイクルした製品を市内事業所で製造しています。 これらは、道路・歩道・駐車場の舗装に使うことで、「打ち水効果」と同様に舗装路面 の温度上昇を抑制する効果があります。



資料:協和道路株式会社

3 生物多様性の保全

本市は、三方を山間部に囲まれた緑豊かな地域です。北部に源を発する重信川の流域には泉やため池が多く存在し、潤いあふれる水辺空間にも恵まれています。山間部から平坦部まで起伏に富んだ地形に恵まれた本市の自然は、多様な生物の宝庫となっています。

市民アンケートでは、本市の環境の変化については、「山や森の緑の豊かさ」には、大きな変化はないと評価されているものの、「水辺や野山に生息する生き物の数」については、大きく悪化(生き物の数が減少)していると評価されています。

これらの回答と同調するように、市の取り組みへの要望は、「野山や森林などの自然環境 の保全」が最も多い(42%)回答となっています。

将来にわたって、本市の豊かな山、森、川、泉、田園が織りなす美しい自然環境と、その基盤となっている生物多様性の保全が大きな課題となっています。

(1) 生物多様性の保全推進

重信川周辺の泉には、重信川などと水路によってつながっているものもあり、そのような泉に生息する生物は、水路や水路際の植物などを通して移動が可能となり、生態系ネットワークが形成されていると考えられます。

本市の豊かで貴重な自然環境の保全とともに、その基盤となっている生物多様性について、市内における生物の情報収集及び発信による保全意識の向上を啓発していきます。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 身近な動植物の生息環境に関心を持ち、理解を深めます。
- 環境教育・学習に参加して生物多様性の保全に関する知識と意識を持ちます。
- 地域の生態系に影響を及ぼすペット動物の扱いに注意します。
- 植物を植えたり園芸をする場合は、地域の生態系に影響を及ぼす恐れがない種を 選定します。

事業者の取り組み

- 開発の際には、地域の生物の生息情報の収集を行い、生物多様性の保全の観点から、動植物の生息環境の保全に十分留意します。
- 生態系に影響を与える恐れのある外来生物については、購入者に対して、適切な 取り扱いを周知します。
- 生物多様性による農作物の付加価値化を目指し、農作物だけでなく、自然の美し さや文化的資源の魅力の発信に努めます。

- 関係機関や環境保全活動団体などと連携し、市内に生息する生物に関する情報収 集を行い、収集した情報を市の生物多様性保全施策に反映します。
- 環境教育・学習、自然体験学習などさまざまな機会を活用し、生物多様性の保全 に関する情報収集及び情報提供を行い、市民の意識の高揚を図ります。
- ■の天然記念物であるオキチモズクの保護に努めます。
- 「特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律」に関する情報 提供と、特定外来生物に関する禁止事項の周知を図ります。
- 特定外来生物であるアライグマやカミツキガメ、オオクチバス、ブルーギルなどの動物、オオキンケイギク、オオカワヂシャなどの植物に関する状況把握と適正な駆除を実施します。
- 市民、環境保全活動団体などによる地域の環境保全活動を支援します。
- イノシシ、ニホンジカなどの有害鳥獣被害の防止に向けた適切な対策を講じます。



ニホンカワトンボ



ルリビタキ



白猪の滝山麓のゲンジボタルの乱舞



シュレーゲルアオガエル

生物多様性保全

西谷小学校の取り組み

西谷小学校の自然体験教室では、田植えや草取りをする際に棚田の動植物を観察したり、実際の体験の中で生物多様性を実感できるようになっています。加えて、希少種のイヨアブラギクの挿し芽や、アサギマダラのマーキング調査を行っています。

長年にわたり行ってきた緑化活動や自然体験教室など、緑豊かな地域の環境を守る取り組みが評価され、平成27(2015)年度「みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰」を受けました。



イヨアブラギクの挿し芽



アサギマダラ

写真:西谷小学校

くらしの学習会の取り組み

「くらしの学習会」では、ジャコウアゲハを守るため、食草であるウマノスズクサの 植生に配慮した保全活動を行っています。



ジャコウアゲハ



写真:くらしの学習会

特定外来生物

海外など他の地域から、ペットや観賞用として持ち込まれたり、荷物に紛れ込んで移動してきた生き物を外来生物といいます。外来生物の中には、人間に危害を加えるもの、もともとその地域に住んでいる生き物のエサや住みかを奪うことで、生態系に大きな影響を与えるものなどがおり、それらの生き物を特定外来生物として指定しています。

これらの生き物については原則として、飼育・栽培・保管・運搬・販売・輸入などが禁止されており、違反した内容によっては、個人の場合で懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金という罰則が科せられることがあります。



アライグマ 出典:環境省「外来生物写真集」 http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/asimg.html



カミツキガメ 東温市で捕獲された個体





オオキンケイギク

写真:国土交通省重信川出張所

アライグマへの対応

「愛媛県自然環境保全基礎調査」で設置した自動撮影装置により上林地区でアライグマが確認されました。市では、専門家の助言に基づき「環境省四国アライグマ防除モデル事業」によるモニタリング調査などを進めています。

- 広報等による周知
- 市内の寺社の爪跡調査
- 上林地区へ餌トラップの配布
- 捕獲おりの設置
- セミナーの開催 など



撮影されたアライグマ

写真:愛媛県

(2) 里地里山、農村環境の維持・保全

本市の特色である豊かで貴重な自然環境とともに、その自然環境に調和した住宅地や田 園風景及び農村環境の維持・保全を推進します。

一 市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 市民参加型の森林、里山整備活動に参加します。
- 市民を対象とした親子で楽しめる農林業体験活動や自然環境体験活動などに参加します。
- 地域の産品を購入する地産地消に協力します。

事業者の取り組み

- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業・生物 多様性に効果の高い取り組みに努めます。
- 地域の森林、里山整備活動に参加・協力します。
- 自然体験活動などに参加します。
- 地域の産品を購入・使用する地産地消に協力します。

- 市民参加型の森林、里山整備活動を推進・支援します。
- 「エコ・キッズ支援事業」の一環として、親子で楽しめる農林業体験などを積極的に実施します。
- 地域のコミュニティ施設を生涯学習拠点・地方創生拠点 として情報発信を行い、集落支援活動に取り組みます。
- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業・生物多様性に効果の高い取り組みを図ります。
- 関係機関、地元事業者と連携し地産地消を推進します。



滑川野外活動研修施設 (なめがわ清流の森)



井内の棚田



河之内の棚田

写真:東温市観光物産協会

生物多様性保全上重要な里地里山

里地里山は、長い時間をかけて人々が自然と寄り添いながらつくりあげてきた自然環境です。日本では、そうした環境がより身近な存在であったことから、特有の文化や豊かな感性も育まれてきました。

環境省では、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山(略称:重要里地里山)」 (500 か所)を選定しました。

本市では、「上林の里山」が選定されています。また、モニタリングサイト 1000 里 地調査のコアサイト 18 の一つとしても選定されており、長期間(100 年)のモニタリ ング調査を実施中です。

「上林の里山」選定理由

"市の南部に位置し、皿ヶ嶺の裾野の谷沿いに棚田と集落が形成された農山村集落である。 市街地近郊に位置しながら、棚田や水路、二次林、ため池も数多く分布しており、モザイク状の土地利用形態が維持されていることから、ニホンリスやカヤネズミ、カワラヒワやホオジロ、アカハライモリなど、里地里山に特徴的な種が多く生息している。

農林業等の生産活動、動植物・景観保全、環境教育、身近な自然とのふれあいの場などとして保全活用されている。"

出典:環境省重要里地里山HP



上林の棚田

写真:東温市観光物産協会

千年の森づくり(えひめ千年の森をつくる会)

千年の森づくりは、平成 12 (2000) 年、本市に移住した鶴見夫妻が中心となって設立された「えひめ千年の森をつくる会」が取り組んでいる里地里山の保全活動です。その活動は、次の 6 本の柱 (分野) から成っています。

- ① 森づくり:森林整備活動
- ② 世界に開かれた木炭学校:さいわい窯での炭焼き体験
- ③ 自然農法実践農場:有機・無農薬の稲、野菜づくり
- ④ 農林産物の加工が学べる場:安全で健康によい食と体にやさしい家づくりが学べる場
- ⑤ ありのままの自分に出会う場:本来の自分にふと立ちかえる機会・気づき
- ⑥ 未来循環型自給を目指した生活の提案:自然と共生しながら循環する暮らし

これらの活動のほか、子どもたちの自然体験教室など地域に密着し地元のニーズに対応 した森の再生、里山の保全、地域づくり活動に取り組むとともに、活動の輪が各地に大き く拡がることを目指しています。

長年にわたり行ってきた里地里山の保全活動や自然体験教室など、緑豊かな地域の環境を守る取り組みが評価され、平成 24 (2012) 年度「みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰」を受けました。



「千年の森づくり」の活動風景

出典:えひめ千年の森をつくる会

えひめ自然百選

愛媛県では、県民の自然環境に対する愛着と保護意識の高揚を図るため、平成2(1990)年度に、県内各地域に存在する貴重な自然景観や特異な自然現象の中から、特に美しいものを「えひめ自然百選」として選定しました。

本市では、山岳「皿ヶ嶺」、植物群落の「雨滝のイスノキ群生」、水環境では「阿歌古渓谷」「滑川渓谷」、滝・湖沼の「白猪の滝」の5か所が選定されています。



名 称	概要
雨滝のイスノキ群生	雨乞いの行場として知られる景勝地。雨滝の岩場の上には、市
	指定天然記念物にもなっている、一抱えもあるイスの木が群生
	しています。葉や枝には虫こぶができ、虫の出た穴に口をあて
	て吹いてみると、「ヒョウヒョウ」と音がすることから「ひょん
	の木」とも呼ばれています。
	所在地:東温市河之内
阿歌古渓谷	重信川の上流に位置し、原生林と奇岩碧流に恵まれた地域で、
	紅葉した樹々が渓谷美を表現しています。
	所在地:東温市山之内
滑川渓谷	中山川の上流に位置し、皿ヶ嶺連峰県立自然公園に含まれます。
	長い歴史の中で浸食された砂礫岩の奇怪な岩肌や、全長 1 kmに
	も及ぶナメラと呼ばれる美しい川床、流水が川床にある小さい
	くぼみで渦を巻き小石が内側を削ってできた甌穴など、自然が
	創り出した芸術の世界を堪能できます。
	所在地:東温市明河
白猪の滝	皿ヶ嶺連峰県立自然公園の中にある高さ 96mの滝。表川白猪越
	の渓にかかります。春には山吹や藤の花、夏には新緑、秋には
	紅葉、そして冬の極寒期には滝全体が氷の彫刻のようになり壮
	観です。毎年11月3日には白猪の滝祭りが開催されます。
	所在地:東温市河之内

出典:愛媛県「えひめ自然百選」



雨滝のイスノキ群生



滑川渓谷



白猪の滝



阿歌古渓谷



皿ヶ嶺

写真:東温市観光物産協会

Ⅲ 社会のエコロジー(生活環境・快適環境)

1 安全・安心な環境の保全

市民アンケートの環境の現状に対しては、「空気のきれいさ」「川や池の水のきれいさ」「まちの静かさ」「いやな臭いなど悪臭の少なさ」の生活環境に関わる項目は、満足度が高く評価されており、良好な生活環境が維持されていることがうかがえます。

環境基準で見ると、本市の河川の水質は、環境基準を満足しています。大気、土壌・地下水、騒音については一部で環境基準の超過が見られます。

大気質では、本市に測定局は設置されていませんが、隣接市にある測定局において、光化学オキシダントや微小粒子状物質(PM2.5)が環境基準を超えています。これらの原因物質は、国内だけではなく他国からの飛来の影響も考えられます。

土壌及び地下水については、六価クロム汚染、有機塩素系物質による汚染が発見されています。騒音調査の結果では、幹線道路周辺での環境基準の超過が見られます。

今後とも、広域での監視や情報収集を継続し、良好な生活環境を維持・保全していくことが求められます。

(1) 澄んだ空気の保全

大気質の基準達成は、本市独自の対策だけでは困難な状況もありますが、自ら努力すべき部分は、今後も継続して取り組んでいく必要があります。温室効果ガス排出量の削減、 低炭素社会の構築の面からも、自動車排気ガスの低減に向けた取り組みを進めていきます。

市民・事業者・市の取り組み

- 自動車の運転時には、不要なアイドリング、急発進、急加速は避けるなど、エコドライブを実践します。
- 自動車の購入時や買い替え時には、電気自動車やプラグインハイブリッド、クリーンディーゼル車など環境性能の高い車両の購入を検討します。
- 公共交通機関の利用など、温室効果ガスを可能な限り排出しないライフスタイルを実践します。
- ノーマイカーデーに参加します。
- 大気に関する情報に関心を持つとともに、注意報や警報などの発令 時における適切な対応について、県や市のホームページなどで確認 します。

事業者の取り組み

- 自動車の不要なアイドリング、急発進、急加速を避けるなど、エコドライブを実践します。
- 自動車の購入時や買い替え時は、電気自動車やプラグインハイブリッド、クリーンディーゼル車など環境性能の高い車両の購入やリースを検討します。
- 通勤には、公共交通機関の利用を奨励します。
- ノーマイカーデーへの積極的な参加に向け、事業所全体で取り組みます。
- ばい煙など排出ガスの発生抑制や適正処理、排出基準などを遵守します。
- 工事現場においては、散水や覆いの活用などにより、粉じんの発生・飛散を防止します。
- 農業用ビニールなどは適正に処理し、違法な野外焼却はしません。
- あぜの草や下枝など営農による廃棄物の焼却の際には、風向きや時間など周囲の 環境に配慮します。

- 広報とうおん、市ホームページ、東温メールにより、環境にやさしいエコドライブの情報提供と普及啓発を行います。
- 市が導入したラッピング自動車を活用したPRなどにより、電気自動車やプラグインハイブリッド、クリーンディーゼル車など環境性能の高い車両の普及を促進します。
- ノーマイカーデーの積極的な実施と市民・事業者への広報、周知を図ります。
- 公共交通機関との連携により、利便性の向上に努め、市民・事業者の公共交通機 関の利用を促進します。
- 大気に関する観測・監視活動を継続し、注意報や警報 などの発令時の事業者や市民の対応について周知徹 底を図ります。
- 大気汚染防止法に規定する特定施設の維持管理の指導を行い、大気汚染の未然防止に努めます。
- 違法な野外焼却をなくすため、廃棄物の適正な処理方法について指導、啓発します。

エコドライブ講習

エコドライブとは、燃料の削減やCO₂の排出抑制により、地球温暖化防止につながる環境にやさしい運転方法です。エコドライブに関する知識・技能を習得し、これを実践することは、安全な運転にもつながり交通事故防止に役立ちます。

エコドライブ

● 経済性の向上: 燃料費の節約、車両維持費の低減

2 安全性の向上: 安全運転意識の向上、交通事故の減少

3 環境保全への貢献: 地球温暖化の防止、大気汚染の防止

★エコドライブ講習は、「あいしょくドライビングスクール」の取り組みです。

出典:「あいしょくドライビングスクール」HP

公共交通等利用推進のための取り組み

伊予鉄道横河原線市内各駅の年間利用者数は、減少傾向にあります。市では、第2次 東温市総合計画で、利用者数を平成26(2014)年の1,842(千人)から、平成32 (2020)年までに1,976(千人)に増やすことを目標として掲げています。

市では、東温市公共交通ガイド配布や路線バス親子体験教室の開催など電車やバスの利用促進を行うほかに、観月祭など市内外のイベントで臨時電車やバスから排出されるCO2のオフセットを実施しています。

また、アトラストラベルサービス株式会社では、環境省の「地方発力ーボン・オフセット認証取得支援事業」の採択を受け、全国初となる貸切バスのカーボン・オフセットを行っています。今後は、視察や修学旅行のカーボン・オフセットを行うカーボン・オフセットツアーを実施していきます。



認証ラベルのラッピングバス



東温市公共交通ガイド

公共交通利用推進プログラム

交通すごろく

「交通すごろく」は、愛媛大学が「とうおん子ども科学&環境会議」の分科会で実施しているプログラムです。

内容は、スタート地点の駅を出発し、車もしくは公共交通機関を使ってゴール地点を目指し、全員がゴールしたら終わりとなるゲームです。ゲームを始める前に車カードと電車・バスカードを配ります。電車・バスカードは進めるコマ数は決まっていますが、車カードは出した人数によって進めるコマ数が変わります。一番早くゴールに着いた人が勝ちですが、渋滞や環境のことを考えると必ずしも自分だけが早くゴールすることだけがいいとは限らないことを学びます。



ガリバーマップ

「ガリバーマップ」は、愛媛大学と市が連携して実施しているプログラムです。 大きな地図を床一面に広げ、参加者はその地図の上にあがり、自分の家を探したり、 知っている地域の情報を書き込んでいきます。住み慣れた地域に対して新しい発見があ るかもしれません。





路線バス親子体験教室(バスおうえんだん)

市では、公共交通の利用(バス)促進を目的として、伊予鉄道株式会社と連携して 路線バス親子体験教室を毎年開催しています。

保護者と園児を対象に、実際に路線バスに乗車してもらいながら、バスの乗り方やマナーを学びます。幼少期の乗車体験で、公共交通の理解を深め、将来的な利用促進を図ります。







パーク&ライド

市役所西駐車場に、電車・路線バス利用者用の駐車スペースを設置しました。

土・日・祝限定とはなりますが、パーク&ライド駐車スペースにマイカーを停めて、 伊予鉄横河原線見奈良駅から電車を利用することができます。



<駐車場所にこの看板を掲示しています>



(2) 清らかな水の保全

本市は、地表を流れる水量は少ないものの重信川などの自然生態は豊かで、山間部の豊富な水は伏流水となって平野部の地下を流れており、水資源は豊富といえます。平野部の農業用に伏流水を地下水として利用するための浅井戸や湧き水、泉が多く存在する特徴的で豊かな水環境を有していることから、特に水環境の保全は、本市の重要課題の一つです。

生態系への影響や自然環境との調和、景観、防災対策を踏まえた河川の整備、森林の適切な保全管理などにより、より良い水環境づくりを推進します。

一 市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 公共下水道への早期の接続、合併処理浄化槽の設置など、生活排水は適正に処理 します。
- 無駄な水は、使用しないよう節水を心がけます。
- 雨水タンクなど雨水貯留施設の設置に努めます。
- 廃食用油を流さない、水切りネットを使って食べ残しを流さないなど、水をきれいに大切にする生活を実践します。
- 「とうおん美しいまちづくりサポーター制度」を活用した河川や泉の保全、美化 活動などに参加します。

事業者の取り組み

- 水質汚濁に関する規制・基準を遵守し、水質汚濁事故の未然防止に努めます。
- 有害物質が流出、地下浸透しないよう、使用時はもとより保管などにも十分注意します。
- 工事にあたっては、濁水の発生や油の流出などが起こらないように注意します。
- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業に努めます。
- 畜産事業者は、事業排水や家畜ふん尿などを適切に処理します。



- 河川、泉、水路などの改修にあたっては、多自然型工法の採用など、既存の生態系や自然環境に配慮した事業の実施に努めます。
- 生活環境の向上と清らかな河川の水を守るために、 公共下水道整備、合併処理浄化槽の設置促進など地 域の状況に応じた生活排水処理対策を推進します。
- 雨水利用など、水の再利用や有効利用に関する情報 提供を行い、水資源の保全に向けた意識高揚を図ります。
- 「広報とうおん」、市ホームページなどを通した啓発により公共下水道接続率の向上を図ります。
- 道路整備にあたっては、透水性舗装の採用など水循環に配慮した整備を進めます。
- 「広報とうおん」、市ホームページなどでの市民への情報提供により、台所での水切りネットの使用、廃食用油や食べ残しを流さないなど、家庭でできる生活排水対策の普及を図ります。
- 計画的な森林の保全と整備を推進し、水源のかん養機能の向上を図ります。
- 化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した、持続的な農業の普及を図ります。
- 水質調査結果を定期的にホームページなどに掲載し、水質保全の意識を高めます。



龍沢泉(環境創造型事業)

2 景観の保全と創出

本市の三方を囲む山々、豊かな森林、重信川とその流域に点在する泉やため池、また多くの景勝地などの自然景観、松山平野につながる平坦地や表川沿いの扇状地の田園景観が広がっています。また、川上地区の宿場町の面影を留める「川上旧街道(金毘羅街道の一部)」の風情のあるまち並みや既存市街地のまち並み景観など、さまざまな景観特性が混在あるいは調和し、独自の景観を形成しています。

市民アンケートには、「豊かな自然、田園風景とまち並みが調和したまち」「田舎と都会がほどよく調和したまち」という表現が見られます。個々の表現は違っても、間近に自然豊かな山、川、森林が見え、田畑に囲まれた美しい景観とともにいつまでも暮らし続けたいという、多くの方の想いがうかがえます。

東温市らしい"ほどよい"景観の保全とともに、のどかで安らぎを感じるまちのイメージを大切にしながら、より美しい景観形成を進めていきます。

(1) 美しい景観の保全と創出

豊かな自然と調和した東温市らしい景観の保全とともに、景観計画の策定などで、より 美しい景観形成を進めていきます。



皿ヶ嶺

写真: 東温市観光物産協会

市民・事業者・市の取り組み -

市民の取り組み

- 自然景観とまち並み景観の調和した東温らしい景観の保全、活用、継承に協力します。
- 住宅などの建設・改築などの際には、周辺の景観との調和に配慮します。

事業者の取り組み

- 事業活動にあたり、周辺の景観に配慮するとともに、より良い景観形成に寄与するよう努めます。
- 市の景観形成に関わる施策に協力します。

- 「都市計画マスタープラン」や「東温市景観まちづくり計画」により、計画的な 景観形成を推進します。
- 田園景観の保全の観点から、農業振興と連携した地域活性化の推進、農業体験や 交流事業の拡充を図ります。



源太ザクラ



白猪の滝

写真:東温市観光物産協会

(2) 環境美化の推進(マナーやモラルの向上)

市民は、きれいなまち、美しいまちに対して高い意識を持っています。地域が一体となった美化活動などにより、さらにきれいなまちづくりを推進していきます。

また、ポイ捨て防止など、一人ひとりのマナーやモラル向上の啓発を通して、誰もが快適に暮らせるまちづくりを進めます。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 公園や河川など地域の美化活動に積極的に参加します。
- 散歩時のペットのふんの処理など、飼育のマナーを守ります。
- 自転車を利用する際には、道路交通法を守るとともに、歩行者の安全に十分に気を つけます。
- 喫煙者は決められた場所で喫煙し、路上喫煙などをしないように努めます。
- ごみのポイ捨て、不法投棄はしません。
- 空き家、空き地などの所有者は、周辺の迷惑にならないよう に適正に維持管理します。

事業者の取り組み

- 地域と連携した清掃美化活動への参加など、美しいまちづくりに協力します。
- 商品などの販売と併せて、利用のマナーや取り扱いに関する注意事項の告知、周知を徹底します。
- 空事業所、未活用地、遊休地の適正管理に努めます。
- 県条例に準じた屋外広告物を適正に表示・設置します。

- 「とうおん美しいまちづくりサポーター」への参加団体の拡大を図ります。
- 路上喫煙の危険性を周知し、喫煙マナーを啓発します。
- ペットの飼い方など、飼い主に対しマナーを啓発します。
- 歩行者、自転車利用者への交通マナー、道路交通法の周知を図ります。
- 不法投棄監視パトロールの実施など、ごみの不法投棄の防止対策を進めます。
- 空き家、空き地などの所有者に対し、周辺の迷惑にならないように適正に維持管理するよう働きかけます。
- 県条例に準じた屋外広告物の適正な表示・設置を監視・指導します。

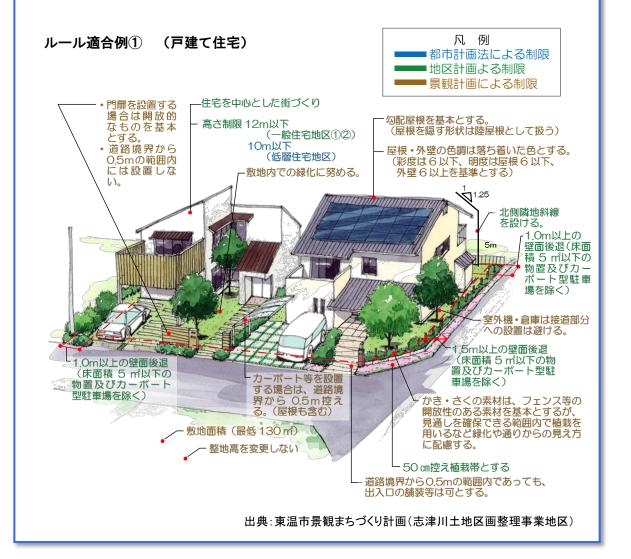
東温市景観まちづくり計画(志津川土地区画整理事業地区)

市は、志津川土地区画整理事業地区で、良好な住宅地づくりを目指して、歩行者の 安全性と通りの景観に配慮したコミュニティ道路や、地域の憩いの場となる公園・緑 地を整備、また、住宅地として使いやすい区画の造成に取り組んでいます。

環境に配慮した取り組みとして、LED街路灯、景観に配慮したごみ集積施設が面的に整備されています。

まちの将来像

緑と花があふれ散歩が楽しいまち まちの景観がルールにより守られた美しいまち 年配者から子どもまで安心・安全に暮らせる安らぎのまち 利便性が高く住民との豊かな交流のあるまち



3 みんなにやさしいまちづくり

少子・高齢化が進む中、市民の多くが子どもや高齢者にやさしく、いつまでも暮らし続けたい安全・安心で、快適なまちであることを望んでいます。

市民アンケートには、将来のまちのイメージとして、「自然・緑、田園風景」とともに、「安全・安心」「高齢者や子どもにやさしい」をあげる意見が多く見られます。

市民、また本市を訪れるすべての人が、温かさと安らぎを感じることができる、みんな にやさしいまちづくりの推進が求められています。

(1) 公園・緑地の管理・整備

市民の憩いの場であり、自然環境と調和する美しいまち並み景観を形成する公園、緑地の整備を進めます。

- 市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 身近な公園や緑地の整備計画策定に対し、積極的に参加します。
- 身近な公園や緑地の保全、美化活動に参加します。
- 公園や緑地、道路、学校などの樹木や草花を大切にします。
- 庭やベランダなどへの植栽や鉢植え、ブロック塀から生垣への 転換など、緑を増やします。



事業者の取り組み

- 地域の公園や緑地の保全、美化活動に参加・協力します。
- 事業所内及び周囲の植栽を増やすなど、まちなかの緑化に協力します。



駅前公園(7号公園)



下窪公園(5号公園)

市の取り組み

- 「とうおん美しいまちづくりサポーター制度」を活用した公園の保全・管理を拡充します。
- 地域のニーズに対応した公園・緑地の整備を進めます。
- 社寺の森や樹木の保全・管理を推進します。
- 屋上緑化や壁面緑化の情報提供などにより普及を図ります。

(2) まちなか緑化の推進

緑豊かなまちづくりに向け、市内各所の緑化を推進します。また、生態系のネットワーク形成の観点からも、植栽などを計画的に増やしていきます。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 公園や緑地、道路、学校などの樹木や草花を大切に します。
- 庭やベランダなどへの植栽や鉢植え、ブロック塀から生垣への転換など、緑を増やします。
- 緑のカーテンを積極的に活用します。

事業者の取り組み

- 建物の屋上、壁面の緑化を行うよう努めます。
- 事業所内及び周囲の植栽を増やすなど、まちなかの 緑化に協力します。
- 地域の緑化活動に参加・協力します。



- 公共施設などの「緑のカーテン」を拡充するとともに、講習会の開催など市民への普及啓発や緑化意識の向上を図ります。
- 省エネと景観、運動や外遊びにも配慮した取り組みとして、学校施設、保育所、 緑地などの芝生緑化を推進します。



「緑のカーテン」川上小学校



保育所園庭の芝生緑化

(3) バリアフリー化や「スマートウェルネス住宅」の普及推進

環境や安全性に配慮したバリアフリーなど、誰もが暮らしやすい施設の整備を推進します。また、高齢者、障がい者、子育て世帯の居住の安全確保及び健康の維持・増進のため、 住宅のバリアフリー改修や「スマートウェルネス住宅」の普及を推進します。

市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- バリアフリーマップ(福祉マップ)などを利用して、生活の利便性を高めます。
- 高齢者、障がい者と暮らす家庭では、バリアフリー改修を検討します。また、ヒートショック対策など健康に良くなる断熱改修等を検討します。

事業者の取り組み

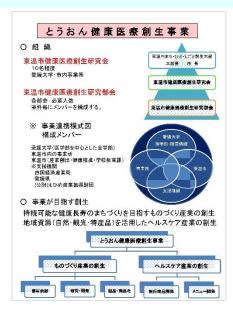
- 誰もが使いやすいように配慮された設計や設備の採用など、バリアフリー化を推進します。
- バリアフリー住宅や、「スマートウェルネス住宅」の供給に努めます。

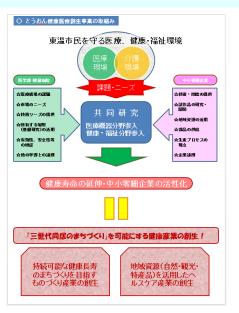
市の取り組み

- ハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進します。
- 居住者の安全確保及び健康の維持・増進のため、住宅のバリアフリー改修や「スマートウェルネス住宅」の普及を推進します。

とうおんヘルスツーリズム

市では、健康寿命の延伸や中小企業の活性化を目指した「とうおんヘルスツーリズム」 を実施しています。





4 地域の歴史・文化の継承及び発信

本市には、いたるところに先人が残したものや、受け継いできた暮らし、よそでは得難い文化・自然があります。それらはすべて私たちの財産であり、そして未来へと保存・活用していく資源でもあります。本市で暮らす人々は、これらの資源を活かし伝える「生きている展示物」であり、事物を来訪者に伝える「学芸員」でもあります。市民の暮らしやまち全体が博物館になる「エコ・ミュージアム」を目指していきます。

また、ありのままの自然や古いまち並みなどの風景を、楽しみながら散策する「フットパス(footpath)」の考えを応用し、健康増進を図りながら、本市特有の歴史、地域文化・食文化を次世代に引き継いでいくため適切な保全・継承に努めます。

さらに、「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、西日本唯一の常設劇場である 「坊っちゃん劇場」を芸術・文化交流の拠点と位置づけて、市民ミュージカルの開催など によって、芸術文化関連人材の活躍で人が人を呼ぶ好循環の確立も目指していきます。

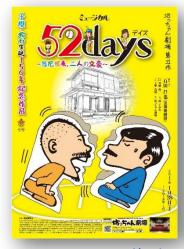
市民・事業者・市の取り組み

市民の取り組み

- 歴史・文化的景観や資産、文化財などの保全、活用、継承に協力します。
- 地域の歴史・文化、伝統行事の認識を深め、保存と継承に協力します。
- 地域の伝統行事、文化イベントなどに積極的に参加します。

事業者の取り組み

- 都市計画法に基づく開発行為を行う場合は、事前に文化財の有無について調査を 行い、工事中においても、新たな発見があれば適切に対応します。
- 地域の歴史的・文化的遺産の保存・継承活動に協力します。
- 歴史体験教室など地域資源を活用する地域の活性化に協力します。





坊っちゃん劇場ミュージカル 「52days~愚陀佛庵、二人の文豪~」

写真:坊っちゃん劇場

- 文化祭や市民大学、各種講演会など魅力ある文化行事の企画・開催を市民と協働 のもとに進めます。また、坊っちゃん劇場との連携により、「創造発信の拠点」、 「国際的な文化・観光交流の拠点」、「人づくり・まちづくりの活動拠点」の三 つをコンセプトとする新たなまちづくり「アート・ヴィレッジ『とうおん構想』」 を推進していきます。
- 先人が築き、長く継承・保存してきた文化財を次世代へ継承するため、保護に取 り組みます。
- 地域の残された伝統文化を継承していくため、後継者の育成などを支援し、体制 の強化を図ります。
- 収蔵資料を積極的に展示・公開し、ホームページに情報公開するなど、市民の歴 史・文化の意識高揚を図ります。



国登録有形文化財「除ケの堰堤」



国指定重要文化財「医王寺本堂内厨子」



- 畳庵(惣河内神社社務所) 漱石を師と仰ぎ、子規とも交流を持った俳人



「追いつめた鶺鴒見えず渓の景」正岡子規 「雲来たり雲去る瀑の紅葉かな」夏目漱石



金毘羅街道の一部として交通の要衝となっていた町筋 今も道標や常夜灯が往時をしのばせている。

地域の魅力を伝えるエコツーリズム

本市では、自然環境、文化、歴史などの魅力を伝える「エコツーリズム」を推進しており、市民・事業者と連携してモデルコースを設定しています。観光地を公共交通機関や自転車などを利用して訪れ、体を動かして実際の自然や歴史、文化に触れ、市特産品に舌鼓を打ちながら、環境と健康について考えてもらうことを目的としています。

なお、「NPO法人新日本歩く道紀行推進機構」から、新日本歩く道紀行 100 選シ リーズ「ふるさとの道」に「みずと坂道のさと かみはやし」が認定されています。

東温アルプス・風穴コース

市民に人気の本コースは、初心者や家族連れでも比較的簡単に登れる上林森林公園から、岩場の間から冷気が霧状に噴出している風穴へ向かいます。ブナやミズナラの樹木や草花など、皿ヶ嶺ならではの豊かな植生を楽しみながら、県内屈指の大湿原竜神平へ、そして標高 1,278m の山頂へとたどり着く内容になっています。トレッキングの後は夏季限定で、地元住民が運営するそうめん流しが利用できます。

皿ヶ嶺登山では「十人十色の山物語」をテーマに、皿ヶ嶺特有の地形や地質、動植物などの観察を通じて山全体を一つのまとまりとして捉えています。その中で自然現象のさまざまな「不思議」を発見し、それに対する自分なりのストーリー(物語)を創造し、より深く山を理解してもらうことが目的です。



出典:東温市観光物産協会

サイクリングでまちなかめぐり

本殿庭に自然石磐座(いわくら)のある浮嶋神社や、花とのふれあいや学習の場として開放されている愛媛県農林水産研究所農業研究部花き研究指導室、さまざまな技術によって生物多様性の観点から整備された柳原泉など、本市には自転車で立ち寄れる、環境に関連した名所があります。

レスパスシティ内にはレンタサイクルショップ「strada」があり、自転車をレンタルすることもできます。



出典:東温市観光物産協会





「伊予土佐や山をたゝみて夏霞」 松根東洋城

市内の魅力ある店舗や商品

市内には、昔ながらの商品を販売している商店街や、地元食材や市特産品を使った農家レストランやベーカリー、パティスリーなども点在しています。特に市特産品のはだか麦、もち麦は食物繊維を豊富に含んでおり、健康にも良いとされています。













市内の魅力ある商品例

出典:東温市観光物産協会